

尾張地域の農産物

416万人余の人口を抱える尾張地域では、様々な農産物を生産して消費者に提供しています。その中には、当地域が誇るユニークな農産物もたくさんあります。

愛知県では、もっと県産品を食べて（Eat more Aichi products）、消費者と生産者が今まで以上に「いい友」関係になるように、「いいともあいち運動」を展開しています。

「いいともあいち運動」って知ってる？

- 1 愛知県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- 2 Eat more Aichi products
(イート モア アイチプロダクツ)
||
もっと愛知県産品を食べよう(利用しよう)



あいまるって
呼んでね！



肉も、卵も、

地鶏の中でも最も有名な名古屋コーチン。明治初期に中国原産のコーチン種と県内の在来種を交配させた品種で、小牧市が発祥の地です。肉がおいしく、桜色の美しい卵も人気です。

3月10日は名古屋コーチンの日として認定さ



そのまま調理しても、加工食品でも、稲沢市祖父江地区のぎんなんの出荷量は、全国1位。「祖父江のぎんなん」としてブランドを確立しています。また、加工食品の研究・開発も進めています。



野菜も、果物も、

ほうれんそうなどの葉物野菜、いちじくなど一部の果物は、鮮度を保つのが難しい農作物です。尾張地域では、朝採った農産物を、その日のうちに消費者に届けることもできます。



伝統野菜も、新しい野菜も、

伝統野菜である守口大根は、世界一長い大根です。「守口漬」として昔から親しまれてきました。プチヴェールは、ケールとメキャベツの交配によって1990年に生まれた野菜です。



ももも、ぶどうも、

小牧市・春日井市・犬山市では、日照量の多さなど地域の特性を利用して、もも・ぶどうの生産が盛んです。甘さと香りを生かした菓子などの加工食品も開発しています。



ねぎも、なすも、

伝統野菜である越津ねぎは柔らかいねぎで、東京の市場にも出荷しています。一宮市・稲沢市のなすの生産者たちは環境にやさしい農業を目指しており、県内の市場に出荷しています。



生産も、流通も、

愛知県は花の出荷額全国一の「花の王国」です。当地域では特に花苗の生産が盛んです。流通面でも豊明市に日本最大級の花き市場があり、輸出にも取り組んでいます。



米も、麦も、

尾張地域では、日本酒用の酒米、麦茶用の六条大麦といった特色ある穀物も生産しています。通常の米（右）より大粒で、中心部の心白が大きい夢吟香（左）は優れた酒米です。